

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

FY2026 Q1
(2026年4月1日 ~ 2026年6月30日)

株式会社スクロール

証券コード: 8005 (東証プライム)



目次

01	2027年3月期 第1四半期 連結決算概要	P.2
02	事業セグメント業績	P.5
03	2027年3月期 通期業績予想	P.9
04	資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応	P.11
05	Appendix 中長期ビジョン / 事業及び会社概要	P.15

SECTION 01

2027年3月期 第1四半期 連結決算概要

連結決算ハイライト

決算概況：増収増益

- 売上高：ソリューション事業の成長(前年同期比+14.1%)により増収。
- 経常利益：円安の影響により通販事業の粗利が圧迫されるも、その他セグメントの収益構造の改善が寄与し増益。
- 四半期純利益：政策保有株式の売却益を特別利益に計上し、大幅に増益。

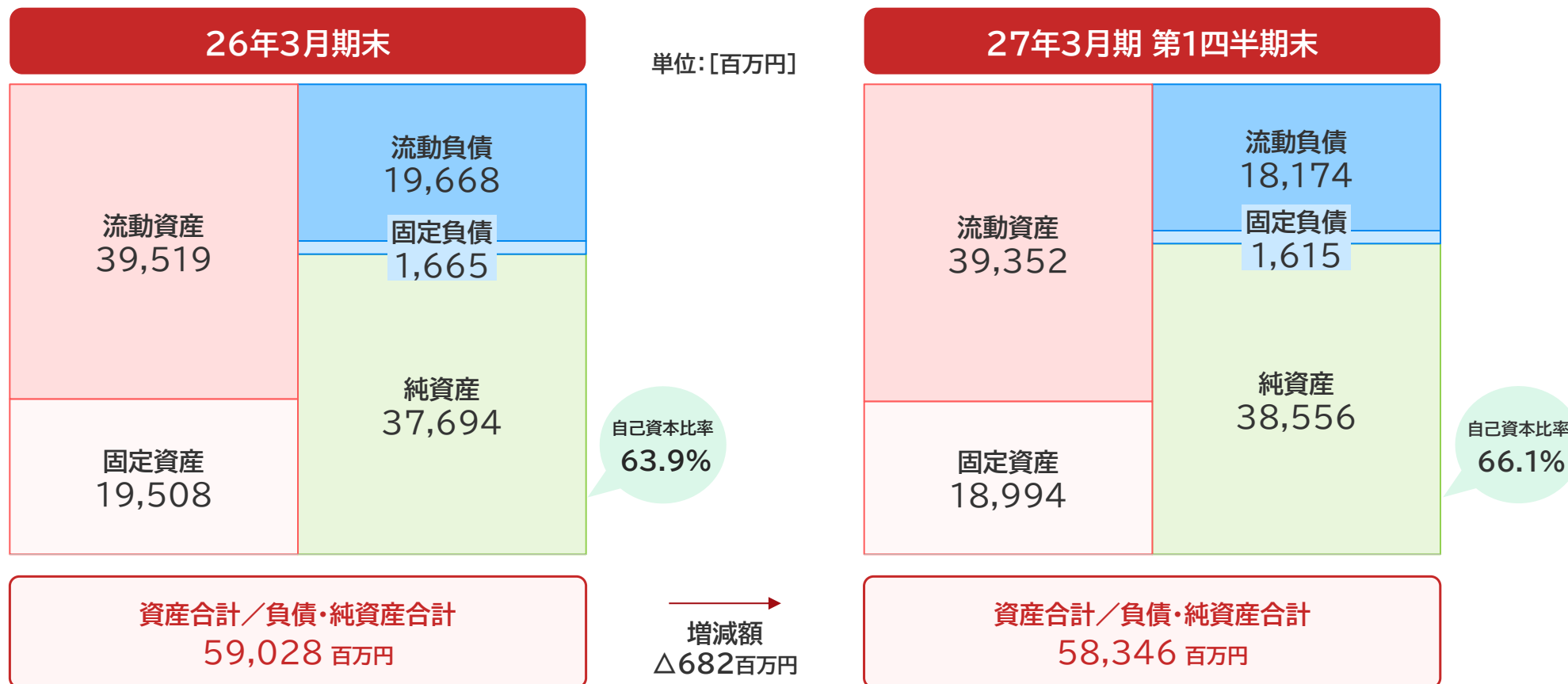
単位:[百万円]	26年3月期 1Q	27年3月期 1Q	増減額	増減率
売上高	21,698	22,344	+645	+2.97%
営業利益	1,689	1,654	△35	△2.08%
経常利益	1,836	1,865	+29	+1.59%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,231	1,645	+414	+33.65%
一株当たり 四半期純利益	35.78円	48.67円	+12.89円	—

※ △は損失または減少を表します。以下、すべてのページにおいて同様に表記します。

連結貸借対照表の状況

健全な財務体質を維持

負債の減少及び四半期純利益の計上により、自己資本比率は63.9%から66.1%に約2pt向上。



SECTION 02

事業セグメント業績

ソリューション事業 業績

■ 四半期決算のポイント

増収 増益

- ・物流代行において昨年度好調であった新規顧客の立ち上げが売上に寄与
- ・前年同期に業績の下押し要因となっていた決済代行の債権回収に係る引当金の計上負担が解消したことで、収益性が改善

■ 事業内容

物流代行



順調

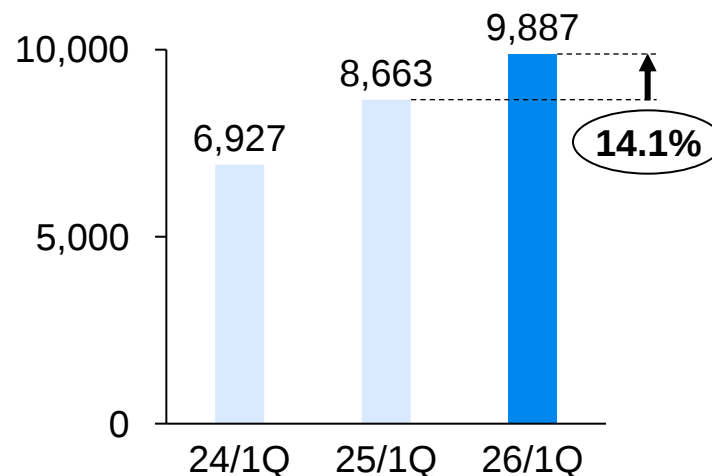
- 商品の入庫や在庫管理、梱包、発送等の物流業務を代行するサービス



Targets

- EC通販事業者(商品購入者への配送)
- 実店舗販売事業者(店舗への配送)

■ 売上高の推移[百万円]



決済代行



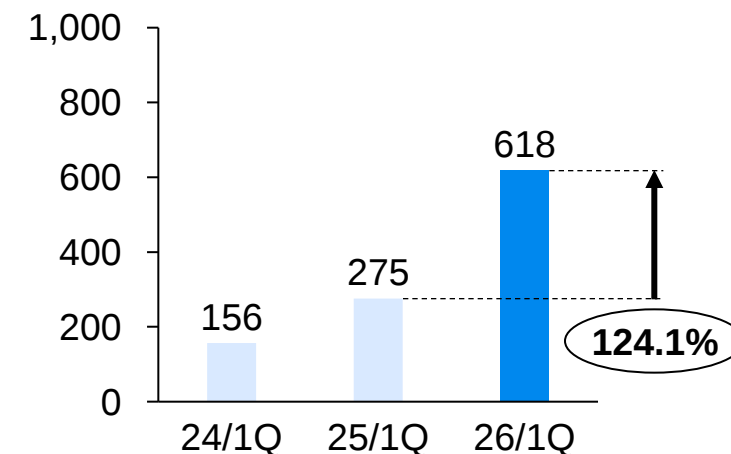
好調

- 後払い決済代行サービス
- 掛払い決済代行サービス



- EC通販事業者(商品購入者への提供)
- 法人向け事業者(企業間決済への提供)

■ 経常利益の推移[百万円]

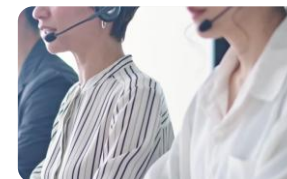


BPO



順調

- マーケティング支援
- 多言語コールセンター
- EC業務のアウトソーシング請負 等



- EC通販事業者
- 自治体及び官公庁

通販事業 業績

■ 四半期決算のポイント

減収 減益

- ・顧客動向をつかんだカタログ編成により、トップラインは維持
- ・恒常的な円安により仕入れコストが上昇し、収益を圧迫

■ 事業内容

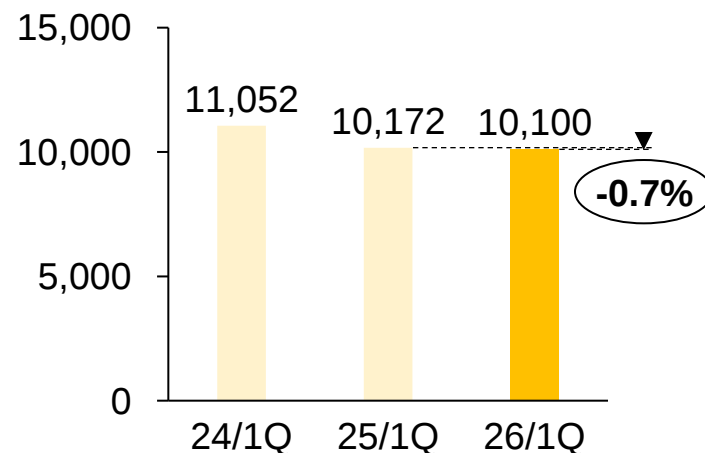
生活協同組合の宅配事業を通じて商品を販売。毎週最大800万人の生協組合員様に対してカタログ通販を展開。

主な顧客層 50～70代女性

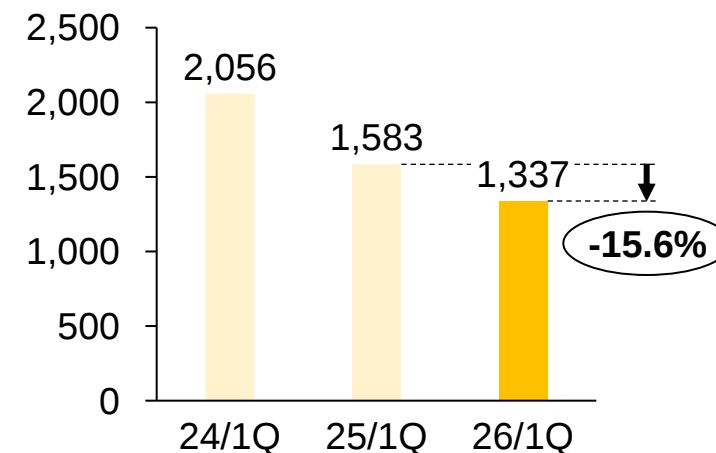
展開商品 アパレル・インナー・服飾雑貨



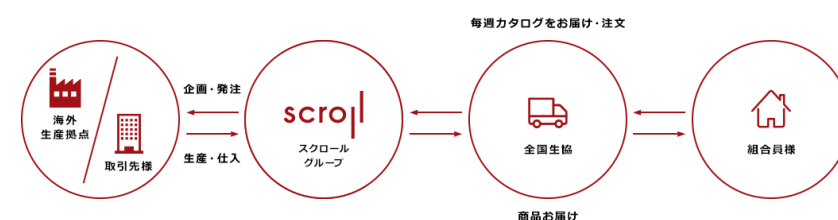
■ 売上高の推移[百万円]



■ 経常利益の推移[百万円]



- 安定かつ強固な顧客基盤を保有
- マーケティングコストと物流費を大幅に抑制
- 生協様との高度なシステム連携



通販事業のビジネスフロー

eコマース事業 業績

■ 四半期決算のポイント

! 不採算事業の整理及び新たな事業基盤構築に向けたビジネスモデルの転換を推進中

減収 増益

- ・不採算事業の整理により売上高は前年同期を下回る
- ・事業リストラクチャリングにより収益性は改善傾向

■ 事業内容

多様な顧客接点を持つECの特色を生かし、自社サイトやインターネットモール上で、各ジャンルに特化した専門店を展開。

株式会社ナチュラム

アウトドア・キャンプ・フィッシングに特化したEC。
自社ブランド「Hilander」などを展開。

主な販路：大手ECモール、自社ECサイト



株式会社ミヨシ

備蓄品、非常用保存食、防災資機材などを企画・販売。
防災用品のリーディングカンパニー。

主な販路：大手ECモール、官公庁・自治体



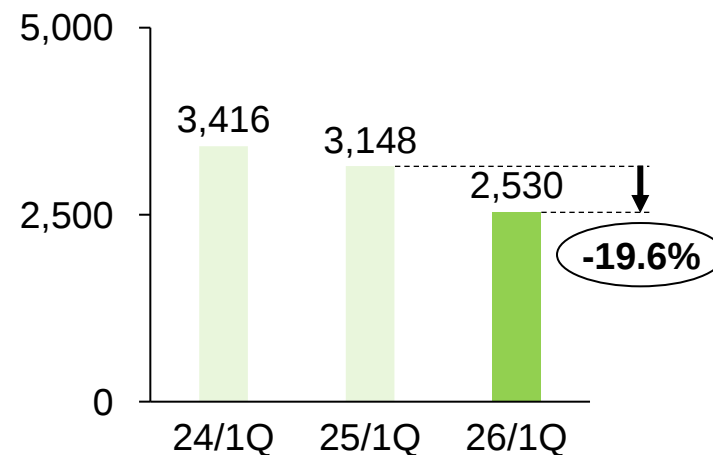
株式会社キナリ

自然由来成分にこだわった化粧品「草花木果」などの開発及びインターネット通販を展開。

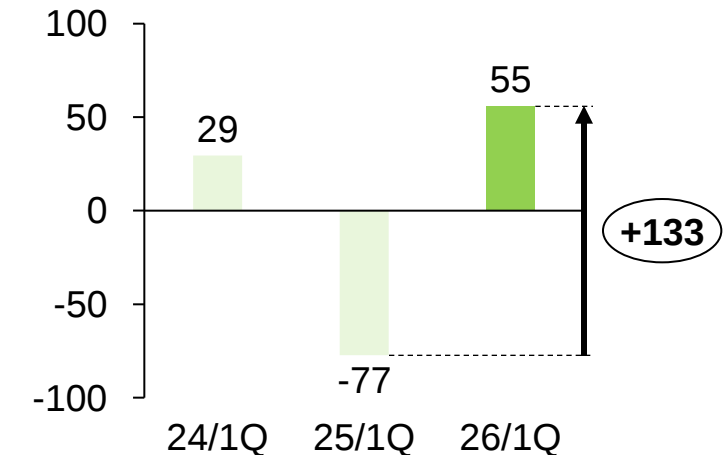
主な販路：大手ECモール、自社ECサイト



■ 売上高の推移[百万円]



■ 経常利益の推移[百万円]



SECTION 03

2027年3月期 通期業績予想

通期業績予想の修正

当期純利益の見通しを上方修正

- 政策保有株式の縮減方針に従い、27年3月期 1Qにおいて投資有価証券売却益5億5千万円を特別利益に計上したことに伴い、通期の業績予想を上方修正。

単位:[百万円]	26年3月期 (実績)	27年3月期 業績予想		増減額	増減率
		前回(2026/5/7)発表	今回(2026/7/31)発表		
売上高	88,548	90,000	90,000	0	0.00%
営業利益	5,727	6,100	6,100	0	0.00%
経常利益	6,166	6,500	6,500	0	0.00%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,768	4,300	4,700	+400	+9.30%
ROE	7.5%	11.1%	12.4%	+1.3pt	—

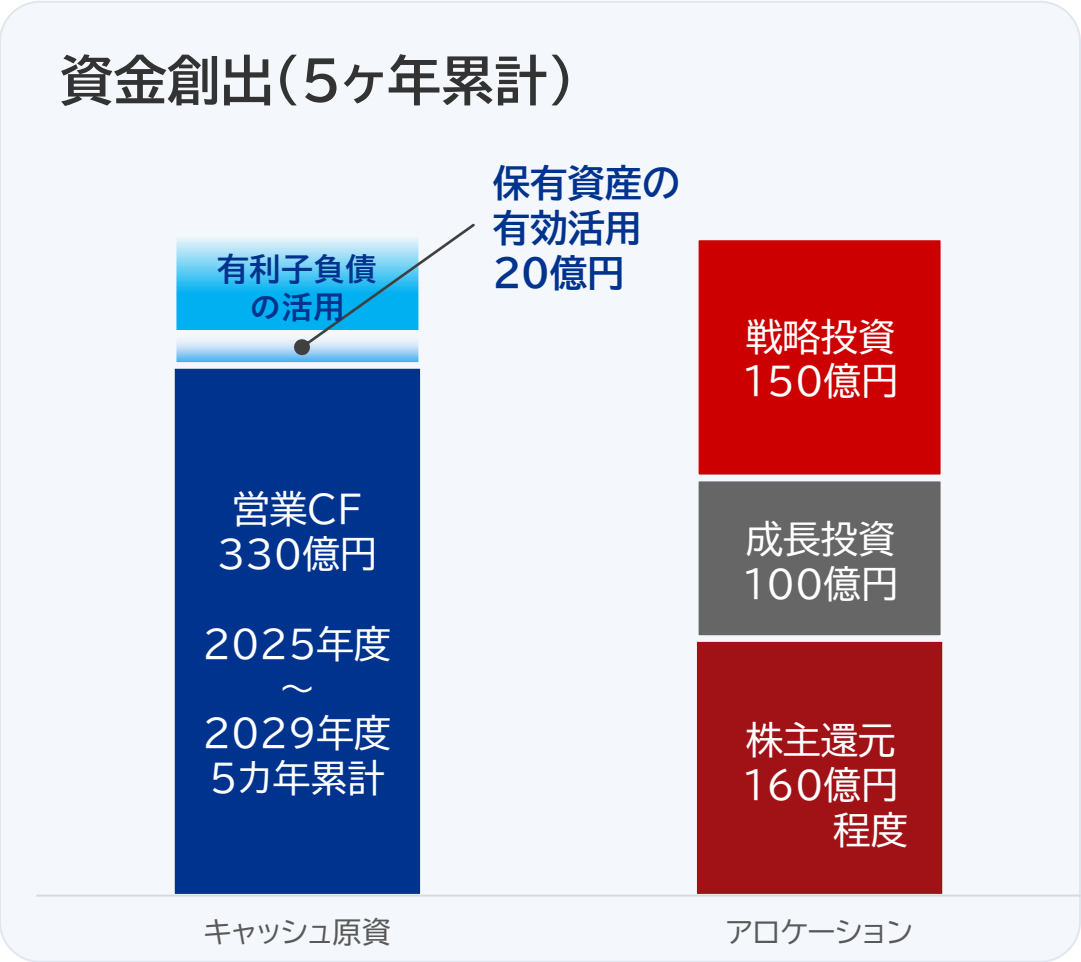
※セグメント別の業績予想および配当予想は前回発表(2026/5/7)から変更ありません。

SECTION 04

資本コストや株価を意識した経営の実現 に向けた対応

キャピタルアロケーション方針(FY2025-FY2029)

創出する安定キャッシュと余剰資産の流動化により、「利益成長のための投資」と「配当性向・DOEに基づく安定的な株主還元」を、厳格な財務規律を持って最適に配分する



キャッシュの使途

戦略投資

150 億円

非連続な成長を実現するためのM&A等

成長投資

100 億円

既存施設の維持更新、物流施設の増床、効率化や基盤強化に資する支出

株主還元

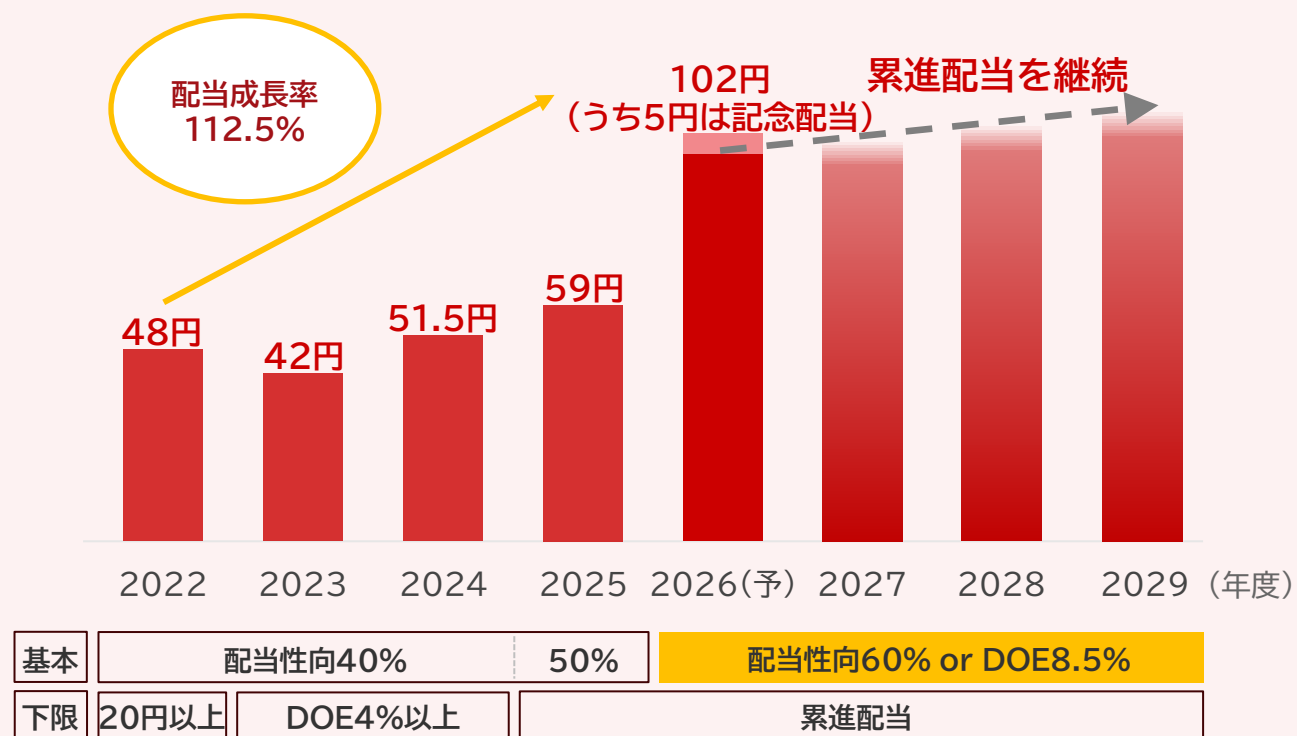
160 億円程度

連結配当性向60%またはDOE8.5%のいずれか高い方を基準とした累進配当の実施。還元ベースの着実な拡大。

株主還元方針

- ▶ 中長期ビジョンに掲げるROE15%以上の達成に向け、還元指標を「配当性向60%またはDOE8.5%」へ
- ▶ 累進配当により短期業績に左右されない安定的な利益配分と、機動的な自己株買いを推進する

1株当たり配当金の推移



配当方針

連結配当性向60%またはDOE8.5%のいずれか高い方を基準とした**累進配当**を実施。

追加還元

企業価値最大化を目的とした成長投資と安定的利益配分を実施したうえで、さらに追加還元の余地がある場合は、**機動的に自己株式の買入れなどを行い**、株主の皆様へ還元する。

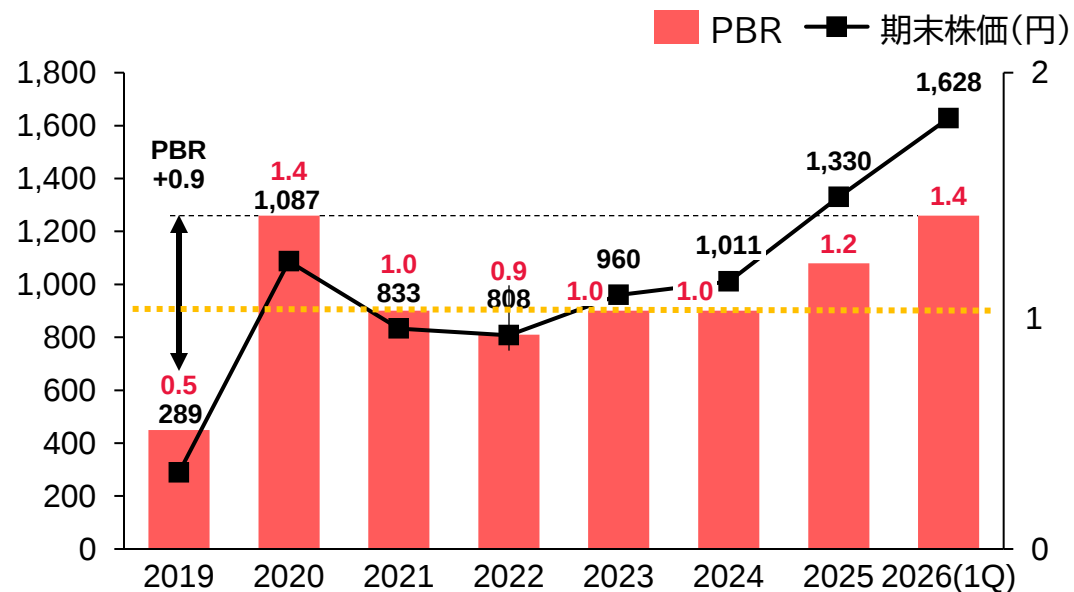
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

■ 現状分析

- ▶ 株主還元強化策により、株価は市場から一定の評価を獲得
- ▶ 直近のPBRは1.5倍に到達し、「1倍超え」はクリア
- ▶ 資本収益性(ROE)は資本コストを上回って推移し、直近年度の特異要因(特損)を除けば10%超の水準を堅持

一方で、中長期ビジョンに掲げるROE目標15%以上の達成には、純資産の蓄積に伴う資本効率低下への打ち手が必要

■ PBRと株価の推移

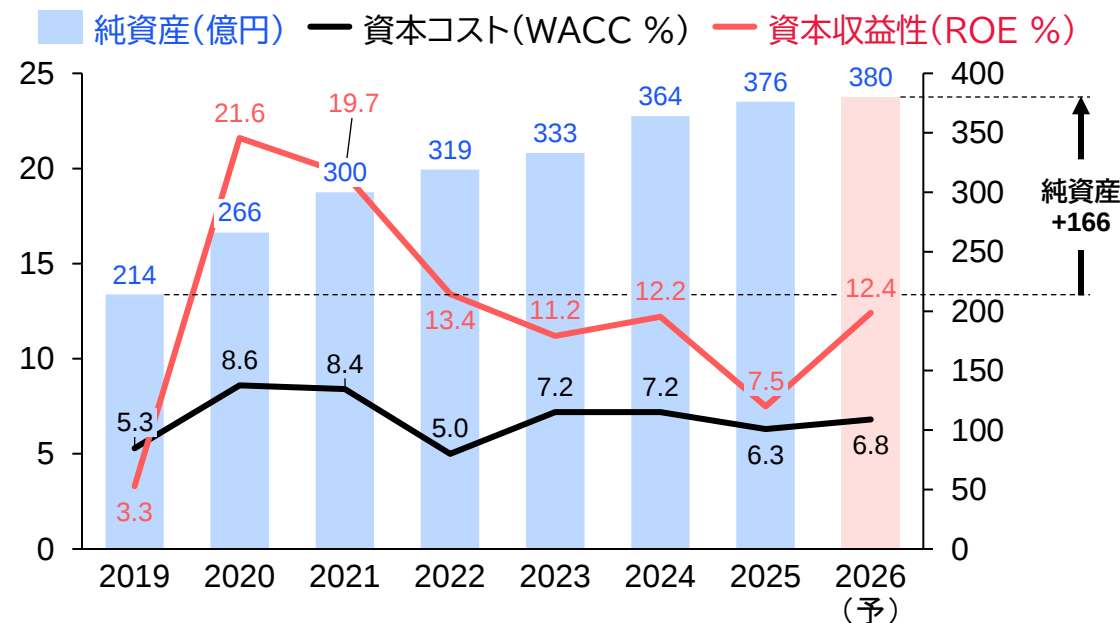


■ 株主価値向上への取組み

- ▶ 資本効率を高める資本政策として、持続的な配当還元に加え、政策保有株式縮減と自社株買いにより、ROEの押上げを図る

政策保有株式売却を含む余剰資本を原資とする総額20億円
の自己株式取得実施を決定
(取得期間:2026年8月4日~2026年9月30日)

■ 資本収益性・資本コストの比較と純資産額の推移



SECTION 05

Appendix

中長期ビジョン / 事業及び会社概要

中長期ビジョン 定量目標

中長期ビジョンの設定

創業90周年となる2029年度までに達成すべき定量目標を設定、ソリューション事業と通販事業の2本柱で経営を推進

2025年度(実績)

連結純利益

27.6 億円

ROE

7.5 %

2026年度(予想)

連結純利益

47 億円

ROE

12.4 %

2029年度(目標)



連結純利益

60 億円以上



ROE

15 %以上



総還元性向

60 %程度

事業概要

ソリューション事業

《BtoB》

EC・通販事業者を360度サポートする「ワンストップソリューションサービス」を提供しています。

【会社構成】



通販事業

《BtoBtoC》

主に生協宅配事業の組合員様向けに通信販売(カタログ・一部インターネット)を展開しています。

【会社構成】



詩克樂商貿
(上海)
有限公司

SCROLL
VIETNAM
CO.,LTD.

SCROLL
BANGLADESH
CO.,LTD.

eコマース事業

《BtoC》

主に自社サイトやショッピングモールを通じて、専門特化した商品のインターネット販売を行っています。

【会社構成】



A X E S

グループ管轄事業

《BtoB》

全国各拠点の物流センター運営、不動産の有効活用機能を担っています。

【会社構成】



会社概要

すべての「欲しい」を解決する。

scro|l

Direct Solution Company

会社名	株式会社スクロール (Scroll Corporation)
本社所在地	静岡県浜松市中央区佐藤二丁目24番1号
代表者	代表取締役社長 鶴見 知久
設立 / 創業	1943年 (昭和18年) 10月1日 設立 (創業:1939年)
主な事業内容	ソリューション事業 (EC・通販事業者向け支援)、通販事業、eコマース事業、グループ管轄事業
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード:8005)



お問合せ窓口

経営統括部 経営企画課

TEL : 053-464-1114 (直通)

E-mail : ir@mb.scroll.jp

ホームページアドレス <https://www.scroll.jp/>

■将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。